

第一号議案 第17期事業報告書及び決算関係書類の説明 (損益計算書)

第17期(2021年10月1日～2022年9月30日)は入国規制の緩和により受入が再開しました。業績におきましては、事業収支は一部待機実習生の辞退があったものの予定より早期に入国となり、またチエングロウスとの業務委託方式への変更などによるコスト削減で計画以上の事業収支(+3百万円)となりました。一般管理費は、退職者2名により人件費は計画に対して減少(△5百万円)いたしました。結果、収支合計で△20,100千円と計画に対し7,900千円の赤字縮小となりました。

収支 (2021年10月1日～2022年9月30日)

(単位：千円)

	計画	実績	差	摘要
I. 事業収入	48,214	46,398	△ 1,816	
II. 賦課金収入	2,880	2,650	△ 230	
III. 事業外収入	2,401	3,302	901	
収入合計	53,495	52,350	△ 1,145	
I. 事業費	33,278	29,082	△ 4,196	
II. 一般管理費	48,217	43,362	△ 4,855	
1 人件費	29,229	23,862	△ 5,367	【人件費主な減少要因】 退職者2名減によるもの △4,767 その他 △483 計画差計 △5,167
2 業務費	18,976	19,496	520	
3 諸税負担金	12	4	△ 8	
III. 事業外費用	0	6	6	
支出合計	81,495	72,450	△ 9,045	
収支合計	△ 28,000	△ 20,100	7,900	

実習生の出入国 (2021年10月1日～2022年9月30日) (単位：人)

	計画	実績	差	摘要
前期末実習生数	87	88	-	
入国	49	43	△ 6	コロナ待機実習生の辞退者
帰国 (減少)	63	64	1	終了28～31期生 63名 途中帰国 1名
増減	△ 14	△ 21	△ 7	
当期末残実習生数	73	67	△ 6	

職員 (2022年9月30日)

(単位：人)

直接雇用 (職員)	6	4	△ 2	2名退職
(CGへ出向)	△ 1	△ 1	0	
出向受け入れ (CG)			0	
(セブン)			0	
外部職員	4	4	0	
期末人員計	9	7	△ 2	

第二号議案 第18期事業計画(案)及び収支予算(案)の説明 (事業計画)

第18期(2022年10月1日～2023年9月30日)の収支予算は、2022年8月に36期生、2022年11月に38期生、2023年2月の39期生のセレクションで総勢60名の入国としており期末には黒字転換目安の実習生総数が100人を超える計画としております。しかしながら収支は前期に比べ5,900千円減少の△26,000千円なりますが、翌期は黒字への道筋となる計画であります。
資金についても、第17期における追加出資により運転資金は確保されております。

収支計画 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(単位：千円)

	前期実績	計画	差	摘要
I. 事業収入	46,398	49,896	3,498	
II. 賦課金収入	2,650	2,640	△ 10	
III. 事業外収入	3,302	5,401	2,099	
収入合計	52,350	57,937	5,587	
I. 事業費	29,082	38,320	9,238	
II. 一般管理費	43,362	45,617	2,255	
1 人件費	23,862	23,854	△ 8	
2 業務費	19,496	21,751	2,255	【業務費の主な増加要因】 ※CGに対する業務委託
3 諸税負担金	4	12	8	
III. 事業外費用	6	0	△ 6	
支出合計	72,450	83,937	11,487	
収支合計	△ 20,100	△ 26,000	△ 5,900	

実習生の出入国計画 (2022年10月1日～2023年9月30日) (単位：人)

	前期実績	計画	差	摘要
前期末実習生数	88	67	-	
入国	43	60	17	予定は36期生24名、38期生16名、39期生20名
帰国（減少）	64	24	△ 40	卒業 32期生24名
増減	△ 21	36	57	
当期末残実習生数	67	103	36	

職員の計画 (2023年9月30日) (単位：人)

直接雇用 (職員)	4	6	2	新規採用 2名
(CGへ出向)	△ 1	△ 1	0	
出向受け入れ (CG)	0	0	0	
(セブン)	0	0	0	
外部職員	4	4	0	
期末人員計	7	9	2	